

高齢者にとってペットとは？

日時 2016年
5月22日(日)
14:00~17:00

場所 東京大学農学部
弥生講堂一条ホール
東京都文京区弥生1-1-1
アクセス 東京メトロ 東大前駅(南北線) 徒歩約2分

入場無料

事前申込は不要です

共催：J-PETS 日本ペットサミット

パネリスト

- 西村 亮平 東京大学大学院農学生命科学研究科
獣医学専攻獣外科学研究室教授
- 森 久美子 関西学院大学社会学部教授
- 山際大志郎 衆議院議員 前 経済産業副大臣

コーディネーター

- 林 良博 独立行政法人 国立科学博物館長
特定非営利活動法人
動物愛護社会化推進協会 副理事長

現在、日本国内における65歳以上の高齢者人口は3,392万人。総人口に占める割合は約27%となり、今後もこの割合は増加することが予測されています。超高齢化社会を迎え、社会の仕組みや環境が変化していく中、高齢者にとってペットはどのような存在なのでしょう？ペットとの暮らしが高齢者の生きがいや癒し、社会参画、QOL(Quality Of Life : 生活の質)の向上に役立つという意見がある反面、同時に課題や様々な問題の発生も懸念されています。

今回のシンポジウムでは、パネリストの発表や問題提起、意見交換を通して、高齢者にとってペットとはどんな存在なのか、皆様と一緒に考えてみたいと思います。入場無料の公開シンポジウムです。お誘い合わせのうえ、どうぞ来場ください。

※人口に関する資料/出典：「人口推計」(総務省統計局)

